

就労選択支援事業所指定基準別表

ワークス翔

別表

(さっぽろ障がい者プランに定める重点取組「事業所の質の向上の取組」)

実施可否欄及び対応可能な障がい種別欄に○印を記入し、本用紙を提出してください

アセスメント 実施手法	具体的な確認内容	実施 可否	対応可能な障がい種別		
			身体	知的	精神
アセスメント実施計画書	事業所としてアセスメント実施計画書を作成し、それを活用して体系的に記録・判断できる ※アセスメント実施計画書(計画内容、実施方法、評価基準、就労アセスメント表、利用者へ提示するフィードバックの様式を含む)を添付	○	○	○	○
標準化検査	実施方法(ツール、手順など)を以下に記載	○	○	○	○
	GATB(一般職業適性検査)／VRT(職業レディネス・テスト)／TEG II(東大式エゴグラム)のツールを使用して実施。				
職務(環境・課題)分析	実施方法(視点、ツール、手順、場面設定など)を以下に記載 ※環境と共に職務の内容や一連の流れ、構造を分析できること(ワークサンプル、模擬的就労場面等と関連付けて実施できること。例えば「就労支援のためのアセスメントシート」における環境の視点を有すること)	○	○	○	○
	視点:作業工程の理解度/作業スピードと正確性/身体的適性/認知的スキル/対人面/環境要因など ツール:タイム計測器/立ち作業用テーブル/伝票と記録 手順:対象者のプロフィール、作業経験、希望を確認。評価の目的と方法を説明。模擬環境を設定。観察・計測を行い、作業手順・動作・環境適応を記録。必要に応じて環境条件を変更し再評価を行う。アセスメントシートに評価を反映し、対象者や関係者にフィードバックし支援計画に活用する。				
ワークサンプル	実施している機器の種別(※)、実績(複数の使用年数・件数)及び具体的な実施・評価方法を以下に記載 ※ワークサンプル幕張版等	○	○	○	○
	ピッキングトレーニング(10年間/143件)/棚や商品を配置する。訓練用伝票(商品名・数量・棚番号などを記載)を複数枚用意する。 伝票を内容を読み取る。棚番号や商品名を確認しながら、指示通りの商品を集める。数量を確認後、指定のカゴへ仕分ける。ピッキング終了後、伝票と実際にピックした商品を照合する。 指示理解、効率性、集中力、スピード、注意力、報告・確認、正確性、作業態度に分類してアセスメントチェック表を用いて評価する。				
模擬的就労場面	事業所で実施する場合にどのような環境で、どのような就労場面を設定できるか ※マニュアルや実績等の添付、または可能な手法を以下に記載	○	○	○	○
	買物カゴを機械を使用して洗浄する作業を通じて、単純な動作を繰り返す就労環境の設定。 洗濯作業を通じて、クリーニング業の場面。布団や衣類の運搬業務。工事現場で使用する資材のメンテナンス。 清掃業務を想定した道具の使い方、WAX清掃を通じて機械洗浄の実施が可能。				
職場実習	職場実習の実績があり、必要とされるアセスメントを実施できる(具体的な実績を以下に記載)	○	○	○	○
	スーパーでの品出し業務。郵便局内の清掃業務。食品加工場での製造、洗浄業務。お弁当製造工場。				

※上記6項目中4項目以上の実施が可能であり、かつそれぞれの項目において複数の障がい種別に対応可能であることが必要

※どのようなアセスメントが実施可能なか利用者に分かりやすく示すこと(例:別表を拡大等して事業所内に掲示、利用者に個別に配布・説明)

※記載欄が不足する場合は欄の追加または別紙の添付可